

朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）

「テコンドー聖地センター」竣工

2012年4月20日発『朝鮮中央通信』によれば、平壤の青春通りに「テコンドー聖地センター」が竣工し、同日、竣工式が行われた。建物の延べ床面積は1万数千m²で、テコンドー歴史館、知識普及室、訓練館、国際会議室、サービス施設などが入っている。竣工式には、崔永林内閣総理、朝鮮労働党の李英秀部長、朴明哲体育相、国際テコンドー連盟の張雄総裁、朝鮮テコンドー委員会の金慶虎委員長、関係者、建設者、市内の勤労者が参加した。

朝鮮労働党と中国共産党が戦略対話

2012年4月22日発『朝鮮中央通信』によれば、同21日、中国・北京で両党間の戦略対話が行われ、北朝鮮側からは金英日党書記（国際担当）、池在竜駐中大使が、中国側からは王家瑞・対外連絡部長などが出席した。

内閣全体会議拡大会議開催

2012年4月23日発『朝鮮中央通信』によれば、内閣全体会議拡大会議が開かれた。会議では、軽工業に力を集中して、人民消費品をより多く生産することに対する問題、農業をしっかりと行い人民の食の問題を解決することに対する問題と、「第1四半期人民経済計画遂行状況の総括と第2四半期人民経済計画実行対策に対して」、「最高人民会議法令「朝鮮民主主義人民共和国2012年国家予算に対して」を正確に執行することに対して」が討議され、決定が採択された。また、第1四半期の工業総生産額は、前年同期比3%増であることが報告された。

平壤市内、郊外で商店、食堂が竣工

『朝鮮新報』によれば、金日成主席の生誕100周年に際して、北朝鮮の各地でサービス施設が次々と竣工した。代表的なものに、平壤の普通江のほりにある「万寿橋魚・精肉店」がある。延べ床面積5,000余m²の商店の1階には、新鮮な魚と冷凍した魚、2階には牛、豚、ガチョウ、七面鳥、ウズラなどの精肉と加工品を販売しており、3階には焼肉のできる食堂がある。2012年4月26日発『朝鮮中央通信』によれば、25日の竣工式には金正恩第一書記、金永南、崔永林、崔竜海、李英浩、金敬姫、金正覚、張成沢、朴道春、金永春、金己男、崔泰福、楊亨燮、姜錫柱、玄哲海、金元弘、李明洙、金養建、金平海、文京徳、郭範基、朱奎昌、金昌燮の各氏、関係部門の幹部たちが参加した。

また、科学者、技術者のための未来商店が、平壤にオープンした。商店には、日用品、電気製品、食料品など、各

種人気の商品が並んでいるという。「未来商店」という名前は、国の繁栄は科学技術発展にあるという意味を込めて、金正恩第1委員長が付けた。金日成総合大学と金策工業総合大学の教員、研究者や、国家科学院の科学者たちが最初の客として商店を訪ねた。

南浦—平壤海水輸送管竣工

2012年4月30日発、『朝鮮中央通信』によれば、南浦—平壤海水輸送管が竣工し、4月30日、南浦市臥牛島区域で竣工式が行われた。2011年2月から工事を始め、南浦と平壤を結ぶ輸送管敷設工事と海水貯留池、沈殿池、ポンプ場の建設などが建設されたとのこと。海水は、新たに開発された海水中の塩素を用いて飲料水を消毒する目的や水族館への供給、キムチや醤油、味噌などの生産に使われるという。

端川港で竣工式

2012年5月11日付『朝鮮新報』によれば、5月3日、咸鏡南道の端川地区で貿易港（開港）が竣工し、崔永林総理や郭範基書記、盧斗哲副総理と関係者が出席して竣工式が行われた。2012年5月3日発『朝鮮中央通信』によれば、端川港の貨物通過能力は数百万トン（年間のことだと思われるが単位は報道されなかった）とのこと。

崔永林内閣総理、咸鏡南道一帯を現地了解

2012年5月11日付『朝鮮新報』によれば、5月3～5日にかけて、崔永林総理が端川マグネシア工場、端川製錬所、2.8ピナロン連合企業所、興南肥料連合企業所、龍城機械連合企業所、興南製薬工場、新興館（咸興冷麺を出す食堂）、金野江軍民発電所と金野青年炭鉱を訪問した。

新設された「女性生活必需品生産工程」

2012年6月6日付『朝鮮新報』によれば、同年4月21日、平壤の龍成区域にある平壤タバコ紙工場に「女性生活必需品生産工程」が新設され、生理用品と紙コップ、紙皿などを生産しているという。

平壤春季国際商品展開催

2012年5月14日発、17日発『朝鮮中央通信』によれば、同年5月14日～17日、平壤の三大革命展示館で平壤春期国際商品展（見本市）が開催された。『朝鮮新報』によれば、展示会には北朝鮮とオランダ、ドイツ、ブルガリア、スイス、英国、オーストリア、イタリア、フィンランド、ポーランド、オーストラリア、マレーシア、モンゴル、中国、台湾の企業が展示品を出品した

（ERINA調査研究部長・主任研究員 三村光弘）